

野菜新品目(青パパイヤ)の生産安定支援

農業技術センター普及指導部野菜課

実施期間: 令和4~6年

課題・目的

- 秦野市では鳥獣被害を受けにくく、栽培管理が容易で労力軽減が可能な新品目として青パパイヤの露地試験栽培を開始した。導入・普及にあたっては栽培方法に不明な点が多い。
- JAはだの及びはだの農業支援センターと連携して優良品種の選定や栽培体系の検討を行いながら、安定生産および生産拡大を目指す。

活動内容

- 令和4年度は「台農2号」、「ゴールデン」、「パッションゴールド」、「ハワイオウロ」の4品種、令和5年度は「台農2号」、「ゴールデン」、「パッションゴールド」、「ビューティーグリーン」の4品種の収穫開始時期や収穫物の大きさ等特性を調査した。農産物直売所で販売するのに適した500g前後で縦長形状の品種として「台農2号」、学校給食用出荷に適した1kg以上で果実表面の凹凸が少ない皮剥きしやすい品種として「ゴールデン」が有望であることがわかった。
- 令和3年度に作成した栽培マニュアルに、品種の生育調査結果を毎年度反映させ改訂し、定植前に開催する栽培講習会で、鳥獣被害とともに情報提供を行った。栽培期間中の5月~12月の間にはJAはだのと隔月で3回のほ場巡回等を行い、生育状況及び鳥獣被害の確認や栽培管理に対する助言を行った。
- 令和5年度には、18戸で75a作付された。栽培マニュアルに沿った生産が行われ、鳥獣被害はなく、順調に収穫期を迎えた。JAはだの直売所に出荷が行われている。



今後の展開

- 栽培マニュアルを使用して講習会及び個別巡回指導を継続的に実施し、安定生産を図る。また、令和6年度までに、青パパイヤを21戸の農家へ導入することで生産拡大を目指す。